

⑥ がんの早期発見・早期治療



【おもな実施内容】

がん（悪性新生物）は本市の死因別死亡数第1位であり、全死因の4分の1を占めています。がんを早期に発見し、QOLの向上と医療費削減を図るため、がん検診受診率および要精密検査者の精密検査実施率の向上を目指していきます。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
胃がん 検診受診者数	1,223人	1,600人
呼吸器（肺がん） 検診受診者数	1,409人	1,600人
乳がん 検診受診者数	1,010人	1,250人
子宮頸がん 検診受診者数	1,247人	1,300人
大腸がん 検診受診者数	6,393人	7,200人

*各がん検診の受診者数は、国民健康保険および健康保険組合に加入する検診受診者の合計です。

【目標への取り組み】

●胃がん・呼吸器（肺がん）

40歳～50歳代の対象者が受診しやすいよう、検診は休日も含めた集団検診を継続的に実施します。また、さまざまな機会に検診の普及啓発を行います。

●乳がん・子宮頸がん

乳幼児健診や健康づくり事業、健診事業等でも検診の必要性について普及啓発を行い、受診勧奨を行います。乳がん検診は休日に受診できるよう集団検診を継続して実施します。

●大腸がん

市内指定医療機関にて特定健康診査と一緒に受診できる体制を継続するとともに、集団特定健康診査と同時に大腸がん検診を実施できることを周知していきます。

⑦ ジェネリック医薬品の利用促進

【おもな実施内容】

医療費の抑制を目的にジェネリック差額通知を実施しています。年々利用率は伸びているものの、国が示す目標値には達していません。ジェネリック医薬品に関する正しい情報提供等を行い、利用を促進し医療費の適正化を図ります。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
利用率	72.1%	80.0%

【目標への取り組み】

ジェネリック医薬品への理解や利用による効果などを周知し、利用率を向上していきます。

第2期 羽村市国民健康保険データヘルス計画【概要版】 令和2年3月

市民生活部市民課 福祉健康部健康課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘五丁目2番地1

電話 042-555-1111 FAX 042-554-2921



第2期

羽村市



国民健康保険 データヘルス計画

Data health plan in Hamura City

令和2年度～令和5年度〈概要版〉



羽村市

計画策定の概要

データヘルス計画策定の目的

国民健康保険被保険者の「健康増進（健康寿命の延伸）」及び「医療費の適正化」を目的に、健康・医療情報等を活用しPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための「第2期羽村市国民健康保険データヘルス計画」を策定し、保健指導の実施・評価・改善等を行います。



国民健康保険加入者の概況

1 国民健康保険加入者の状況

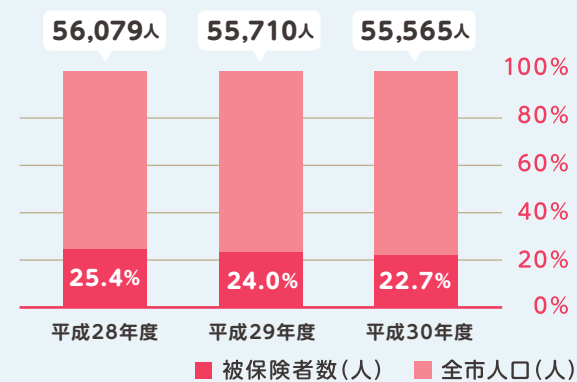
資料 羽村市月報データ（各年3月末時点）より

羽村市の総人口は平成30年度で55,565人であり、平成28年度より年々減少しています。
被保険者数も年々減少傾向にあり、国保加入率も下がっています。

共に
年々減少
していますね

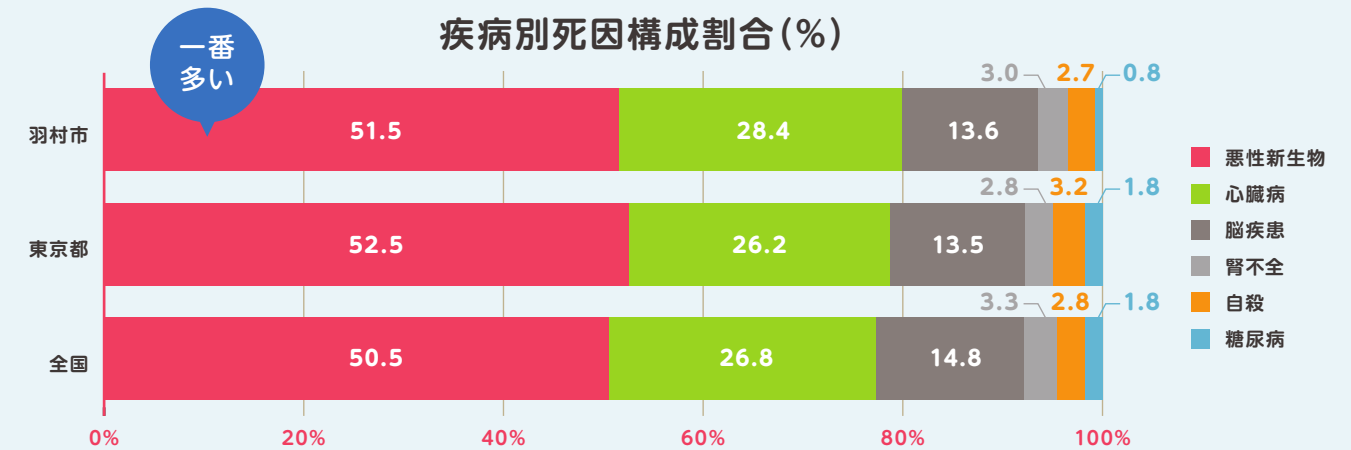


国民健康保険加入者数と加入率



2 死因の状況

資料 国保データベースシステム



平成30年度の主要6死因による疾病別死因構成割合を、東京都、全国と比較すると、羽村市は「心臓病」が高く、「自殺」「糖尿病」が低くなっています。

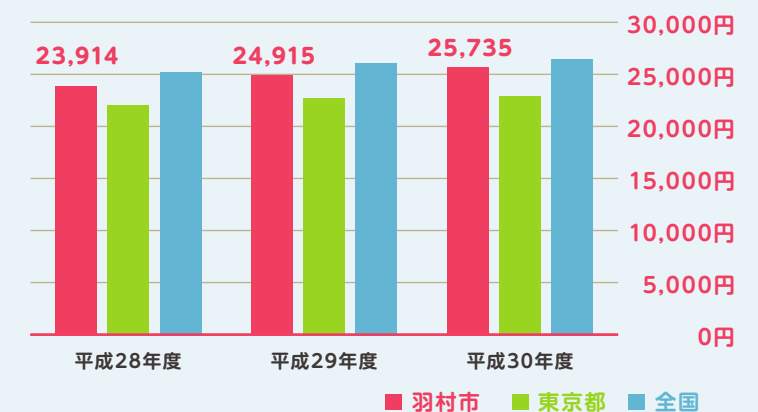
3 医療費の状況

資料 国保データベースシステム

被保険者一人当たり月間医療費は、年々上昇し続けており、平成30年度と平成28年度の医療費を比較すると、約1,800円増加しています。



一人当たり医療費（月額/人）の推移



4 特定健診の受診率（平成30年度）

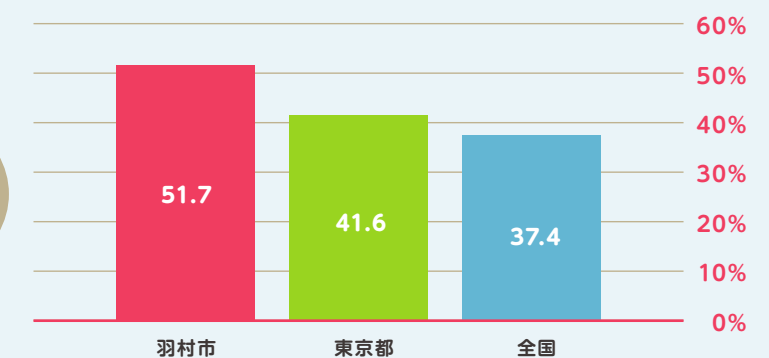
資料 国保データベースシステム

平成30年度の特定健診の受診率は51.7%で、東京都、全国と比較して高くなっています。



平均より
高い結果となっ
ていますね！

特定健診の受診率（%）

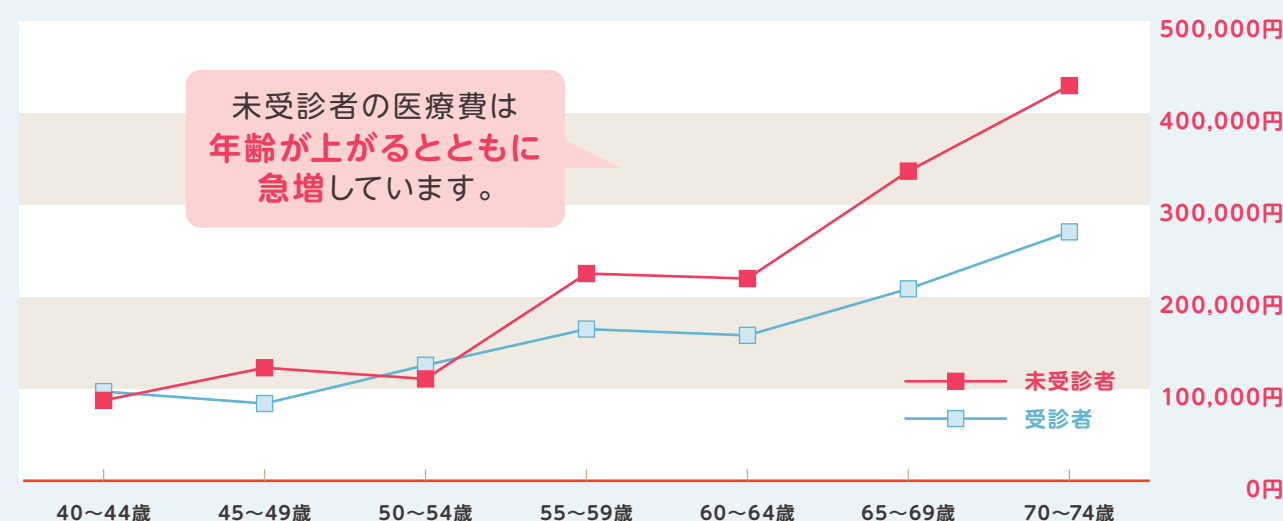


5

特定健診受診有無による一人当たり医療費の状況

資料 レセプトデータ

特定健診受診有無による年齢階層別一人当たり医療費(円)



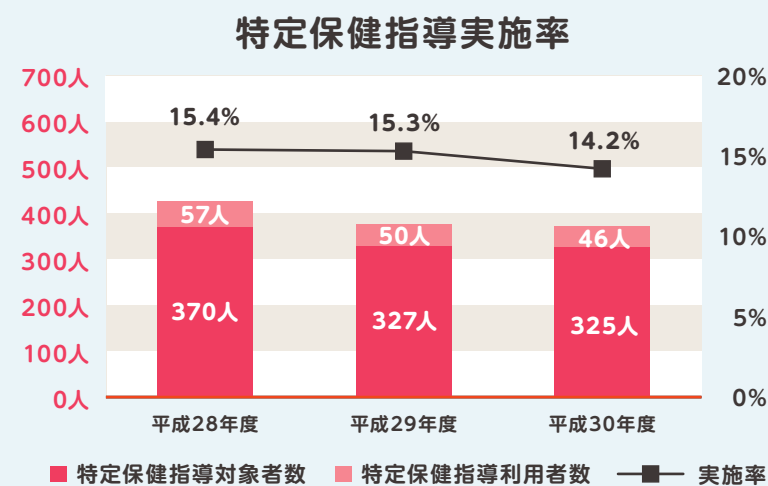
特定健診の受診者と3年連続未受診者において、一人当たり医療費を比較すると、特定健診未受診者の一人当たり医療費は若年層では受診者と大きな変化はありませんが、55歳以上の年齢層では受診者よりも高い結果となっています。

6

特定保健指導の実施状況

資料 事務報告書

特定保健指導実施率は、平成28年度の15.4%から、平成30年度は14.2%と低くなっています。(平成30年度は集計時点で実施途中の為、速報値となります。)



対象者数は減少傾向！

実施率に注目ですね！



国民健康保険加入者の課題



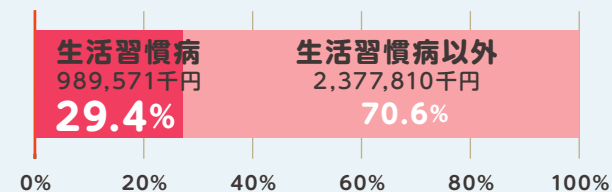
1

生活習慣病と疾病別医療費の適正化

資料 レセプトデータ

① 生活習慣病における医療費の割合

全体に占める生活習慣病(悪性新生物を除く)の割合は29.4%となっています



② 医療費総計 上位5疾病 (平成30年度)

疾病別にみた医療費は、「腎不全」がもっとも多く、医療費総計の9.3%を占めており、次に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が多くなっています。

順位	中分類疾病項目	医療費(千円)	構成比*(%)	患者数(人)
1	腎不全	311,552	9.3%	98
2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	205,726	6.1%	211
3	その他の悪性新生物	183,095	5.4%	239
4	高血圧性疾患	135,393	4.0%	2,073
5	糖尿病	125,700	3.7%	907

*医療費総計全体に対して占める割合

③ 患者一人当たり医療費 上位5疾病 (平成30年度)

患者一人当たり医療費は、「腎不全」が3,179千円ともっとも多く、次に「気管、気管支及び肺の悪性新生物」となっています。

順位	中分類疾病項目	医療費(千円)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(千円)
1	腎不全	311,552	98	3,179
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物	83,898	51	1,645
3	悪性リンパ腫	38,205	26	1,469
4	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	28,969	28	1,034
5	直腸S状結腸移行及び直腸の悪性新生物	43,585	43	1,013

平成30年度の医療費および患者一人当たり医療費は「腎不全」がもっとも多くなっています。「腎不全」は高血圧疾患や糖尿病が悪化して起こることが多いため予防や適切な治療が必要です。

2

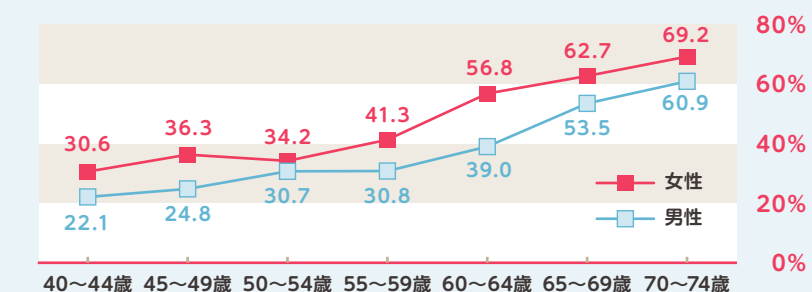
若年層における受診率の向上

資料 国保データベースシステム

特定健診受診率は男女ともに40歳～50歳代の受診率が低く、年齢が上がると高くなる傾向がみられます。

また、各年代ともに男性よりも女性の方が受診率が高くなっています。

年齢階層別特定健診受診



データヘルス計画における 保健事業の目標及び評価指標

PDCAサイクル(P:計画、D:実行、C:評価、A:改善)による評価を行い、
常に保健事業の見直しを図ります。

① 特定健診

【おもな実施内容】

特定健診の受診率は年々上昇しているものの、対象者の約50%が未受診となっています。特に40歳～50歳代の受診率が60歳代と比べて低いため、若い世代にターゲットを絞った受診率向上策を検討していきます。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
受診率	48.4%	60.0%

*目標値は羽村市特定健診等実施計画で定めたものとしており、事務報告書の数値を実績値として算出しています。

【目標への取り組み】

継続して特定健診を受診できるよう、普及啓発や継続した受診の必要性、健診結果等の説明を実施します。また、未受診者への受診勧奨を継続して実施するとともに、過去3年間の累積受診のうち、1回または2回の受診者を対象にした勧奨も実施します。

② 特定保健指導

【おもな実施内容】

特定保健指導の実施率を向上させ、メタボリックシンドロームに該当するリスク保有者への生活習慣の改善を図り、被保険者の健康状態の改善を推進していきます。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
実施率	14.2%	30.0%

*目標値は羽村市特定健診等実施計画で定めたものとしており、事務報告書の数値を実績値として算出しています。

【目標への取り組み】

対象者への個別通知のみならず、電話連絡も実施し特定保健指導の必要性や安心して利用していただくための具体的な説明を行い、実施率の向上を図っていきます。

③ 重複頻回受診者への受診指導



【おもな実施内容】

重複頻回受診は、重複投与や過剰投与の原因により、被保険者の健康を損なう可能性があるため、幅広い年齢層を対象に受診指導等を行い、健康被害の防止と医療保険財政の健全化を図ります。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
受診指導数	9人	20人

【目標への取り組み】

重複投与や過剰投与による健康被害や事業参加による効果などを周知し、事業への参加者を増やしていきます。

④ 生活習慣病の重症化予防 1) 医療機関受診勧奨

【おもな実施内容】

特定健診の結果、脂質異常症や高血圧、糖尿病について「要治療域」と判断された方のうち、レセプト等で受診が確認できない方に対して、保健師等が受診勧奨や健康教育、健康相談を通じて生活習慣の改善を推進していきます。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
指導率	59.7%	90.0%

*対象者…特定健診の結果、高血圧症・糖尿病・脂質異常症について「要治療域」と判断された方のうち、レセプト等で受診が確認できない方(未受診者)。

【目標への取り組み】

電話連絡による受診勧奨にて未受診である方に対して受診が滞っている理由を把握した上で、状況に応じて丁寧に受診勧奨を行います。また、血圧や脂質にリスクを有する方は、自覚症状が少なく受診の必要性を認識しづらい傾向がある点を考慮して対応していきます。

⑤ 生活習慣病の重症化予防 2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

【おもな実施内容】

糖尿病の診断を受けている方を対象に、主治医の意見を踏まえ訪問による保健指導を実施し、腎不全、人工透析への移行を防止していきます。

【実施目標】

評価指標	平成30年度 実績値	令和5年度 目標値
指導数	検討	20人

【目標への取り組み】

糖尿病重症化によるリスクや生活改善の必要性などを周知するとともに、医療機関との連携・協力を強化し事業への参加者を増やしていきます。